



# 青島の風

青島日本人学校だより  
令和2年2月19日  
校長 金森孝子

臨時号 6

## 青島教育局からレターが届きました・・・

新型コロナウイルス感染症は、世界保健機構（WHO）によって、「COVID-19」という名前が付けられました。この名前は武漢への風評被害を早めに防ぐことを意図されているというのですが、現在、日本においても、感染ルートが分からない患者も確認されてきており、いよいよ対岸の火事ではなくなりました。日本に一時帰国しているご家族も、中国で生活しているご家族も、ともにこの難局を、青島日本人学校の一員として一丸となって乗り越えていきましょう。

昨日（2月18日）、次の3つの文書が学校に届きました。

○お問い合わせ窓口の開設について

・中国から一時帰國中又は一時帰国を予定しているお子様の保護者の皆様へ

【文部科学省文部科学省 総合教育政策局 教育改革・国際課】

○通信教育の申し込みについて

・海外子女教育振興財団・通信教育の提供(無償)について

【(公財)海外子女教育振興財団 事業部通信教育チーム】

○親愛なる児童・生徒・学生、教師の皆様へ

・青島における外国人及び香港、マカオ、台湾の教師、児童・生徒・学生への手紙

【青島市教育局】

「問い合わせ窓口の開設」と「通信教育」については、すでに昨日から対応を始めているということが分かり、朝一番に、HPにアップしました。今後、ショートメールを発信しない場合もHPをアップすることがあります。適宜、HPの確認をお願いいたします。

そして、2月15日付の「青島教育局」からのレターですが、臨時休校の延長の含みがあります。3月の臨時休校の延長については、すでに他都市の教育局の通知により、複数の日本人学校が、延長を決定しています。本校は、今後の青島教育局の通知、あるいは運営理事会の審議をもって、次の段階に進みたいと思います。あらゆる場合を想定し、領事館など関係する方々に相談しながら、卒業式、修了式のもち方についても検討しているところです。遅くとも、来週の前半には、決定した内容をお伝えする予定です。

昨日、今日とネット配信を利用した学年交流を実施しました。そこでの様子や子どもたちの反応について、担任から聞いています。「頑張っていることの発表では、勉強や縄跳び、家での課題など、できることを頑張っていることが分かった」「20分を短く感じたようで、『もう終わりか』という声が聞こえた」「他の生徒にも参加してほしい」など、実施したことの良さや今後の課題も見えてきました。今できることを整理し改善しながら、在宅での教育活動を進めていきます。

令和2年2月19日（水） 青島日本人学校長 金森孝子